

形成外科 鍵本慎太郎 医師紹介

【職歴】

2023年4月 - 現在

がん研有明病院 形成外科 副医長

2020年9月 - 2023年3月

横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科 助教

2019年4月 - 2020年7月

英国Swansea大学 医学部形成外科

Clinical Research Fellow

2016年4月 - 2020年3月

横浜市立大学附属病院 形成外科 助教

【学歴】

横浜市立大学大学院 医学研究科 医科学専攻 形成外科学 卒業

佐賀大学医学部医学科 卒業

【資格】

- 形成外科専門医
- 形成外科領域指導医
- 医学博士
- 創傷外科認定医
- 形成外科学会レーザー分野指導医
- 再建マイクロサージェリー分野指導医
- 日本美容外科学科JSAPS会員

1. 傷あと治療に関して

2. 眉毛下皮膚切除（眉下切開）による眼瞼下垂修正術に関して

1. 傷あとと治療に関して

私は医学部の学生時代から、手術の傷あとを最小限にする治療に興味があり、美しく治すことを目指した専門診療科である形成外科医を志しました。形成外科医として10年以上、傷あとを目立たなくするような手術方法、また傷あとの治療方法について経験を重ねてまいりました。

その中で強く感じていることは、傷あとの治療はまだまだ発展途上の分野であること、そして傷あとに関する診断と治療法は定型化されておらず、地域・施設・医師によって治療の差があるということです。

結果、患者さんたちは適切な診断や治療を受けることができていない可能性が大いにあります。人知れず悩まれている方も多いのではないのでしょうか？

私は形成外科専門医／領域指導医、また傷と傷あとの専門診療科である創傷外科の専門医を取得しております。
また傷あと研究に対して競争的研究費※を取得し、実績を積んでまいりました。
現在は「傷あと診断の重要性」、そして「傷あと治療の定量化と定型化」について発信しながら
全国、また世界中の傷あとのお悩みをもつ患者さんの治療に取り組んでおります。

傷あとなかったこと（ゼロ）にはできませんが、
私の経験や知識から、適切な診断を行い、治療方法を相談・選択することで、
患者さんの傷あとのお悩みを和らげたいという強い思いがあります。

傷あとでお悩みの方にとって、このホームページがメリットのあるものになることを願うとともに、
実際の診察にて、個々の患者さんに対しての適切な診断、治療を提供してまいります。

※2021年度LIP.横浜トライアル助成金

2. 眉毛下皮膚切除（眉下切開）による眼瞼下垂修正術に関して

当クリニックでは、形成外科専門医／指導医である鍵本医師が眉毛下皮膚切除（眉下切開）術を基本とした上まぶたの加齢性変化に対する手術治療をおこなっています。

私は傷あとの専門家である創傷外科専門医、かつ日本美容外科学会 JSAPSの学会員でもあります。数々の専門医の立場から、なるべく痛みが少なく、かつ機能面、整容面の改善が得られるよう治療を行っております。